

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		修学旅行等事業費 [宿泊施設使用料負担軽減事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	6	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	教育総務 課 学務 係					課長名	斎藤 謙二郎					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書 (ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市内在住でかつ公立の小・中学校に在籍している児童・生徒のうち、宿泊を伴う移動教室・修学旅行に参加した者の保護者					市内在住でかつ公立の小・中学校に在籍している児童・生徒のうち、宿泊を伴う移動教室・修学旅行への参加対象者数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	修学旅行等の宿泊費の補助(一部)が受けられる					参加者数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	保護者の負担を軽減するため、宿泊を伴う移動教室・修学旅行に参加した児童・生徒の保護者に対し、宿泊費の一部を補助する					児童・生徒一人当たりの補助額 ①小学校移動教室 2,200円 ②小学校修学旅行 3,800円 ③中学校移動教室 4,200円 ④中学校修学旅行 5,100円						
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標				
対象指標	①の数値	人	3,598	3,568	3,029							
成果指標	②の数値	人	2,602	0	1,050							
目標	②の目標値	%	100	100	100							
目標値設定の考え方 全ての児童・生徒が修学旅行等に参加できるようにする。												
活動指標	③の数値	円	①2,200,②3,800 ③4,200,④5,100	実施なし	①2,200,②3,800 ③4,200,④5,100							
3 経費	事業費(実績)		円	10,660,800	0	3,769,500		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	10,660,800	0	3,769,500						
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.0	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人	0.2	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	0	0	825,000						
職員人件費(再任用)	円	783,400	0	0								
事業費+人件費		円	11,444,200	0	4,594,500							
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和58 年度									
	(2) 環境の変化		近年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、修学旅行等の日程を延期又は修学旅行等の実施そのものを見送らざるを得ない状況が発生している。									

事業名称	修学旅行等事業費 [宿泊施設使用料負担軽減事業]				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 斎藤 謙二郎

5
市民等の意見

この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について

特になし

6
市民協働

(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）

☐ 取り組んだ

☒ 取り組まない

取組手法：

【取組手法の種類】

①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成

⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点

特になし

7
課題

(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）

対象学年を広く浅くするか、集中させるかを検討する必要がある。

(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。

特になし

(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）

特になし

8

施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）

施策名： 学校教育の充実

☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）

9
今後の方向性

(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）

☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止

【取組内容】

特になし

(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等

特になし